

阪神地区高体連バレーボール部 4月からの変更事項について

- ・全国選手権大会県予選大会のネットの高さが1回戦から全国大会と同じ高さになります。
阪神地区での公式戦は従来通りの高さで実施しますが、夏の審判講習会でネットを高くして実施します。
- ・該当校の職員のみ男子（女子）監督、女子(男子)コーチの同一大会での登録が可能になります。
- ・各大会の申込先が尼崎北高等学校、永田智久になります。

昨年以前からの確認事項

- ・給水タイムの時間が1分から30秒になります。（総体、選手権阪神予選、秋季リーグ実施）
- ・補助役員がコートオフィシャルという言い方になります。
- ・選手権県予選、阪神予選が18人登録になります。（18人から試合ごと14人を登録）
- ・県新人阪神予選がトーナメント戦になり、ベスト8以下の代表は敗者戦で決定します。
- ・リーグ戦で2部から下の入替戦が2位—4位の試合のみとなります。
1位—5位は自動入替えになります。
- ・阪神ハンドブックは阪神地区のホームページからダウンロードして下さい。郵送いたしません。
- ・総体の参加申込の様式が26年度から変わりました。男子185cm、女子175cmの長身者がチームに所属している時は、氏名等記入する欄ができました。長身者が所属していない時もないというチェックの欄があります。以前のバージョンではなく、必ず26年度以降の総体参加申込書を県のホームページからダウンロードして下さい。
長身者の身長は正確に記入して下さい。
- ・連続試合の場合、30分後プロトコールの場合でも県大会に準じてボールを使用した合同練習はプロトコール前の10分となります。それ以前はボールを使用しない練習になります。
- ・春、秋季リーグで3試合目と4試合目の間を20分間あけることにしました。
（引率教員の休憩時間確保のため）10分間ボールを使用しないアップの後10分間の合同練習に入ります。
- ・阪神関係の申込用紙、構成メンバー表は阪神地区のホームページからダウンロードして下さい。
- ・必ず春季リーグまでに個人登録を完了（納入まで）して下さい。春季リーグの受付時、JVAの登録メンバー一覧を提出して頂きます。